

下水道は世界をすくう

第6 向陽小学校 四年 松本 美想良

ようち園のころに、遠足で、洛西浄化センターの上の公園へ何度か行つた事があります。その時はまさか、下に水をきれいにするしせつがあるなんて思つてもいませんでした。

校外学習で学んだ事がいくつかあります。運転開始から四十四年たつ事。八十人くらいの人か二十四時間交代で働いている事。十六時間から十七時間かけて水をきれいにして桂

川に流している事。水は家庭から出る物が多い事。他にも様々な事を学んだので、記おくに残っている事を三つの順位で発表します。まず三位。それは、一日に十五立方メートルもの水が入ってきている事です。水を使いきっているなど、というのが初めの感想でした。なので、私は、ふだんのくらしの中で水をどのように使して大切に使えるのか家族にインタビューしてみました。あわだらけになると、すすぐ時に水を多く使つてしまふので、石け

んやせんざいは、てき量にするといいいよね。」
という意見などが出てきました。私は「これ
から、水を大切に使おうと決心しました。

二位。それは、ちんさ池の水がくさい事
で、口がへの字になるほどのくささでした。
でも、その理由は、家庭や工場から出た水に
ゴミやどろが入っているからだと言いました。
毎日、いくらくさくさくても働いてくださっ
ている人達のためにも、食べのこしを少なく
したり、油をふきと、たりしようと思いま
した。

そして一位。それは、び生物が水をきれ
いにすることです。生物反のうそうでは多
くのぎ問が生まれました。例えば、目には見
えないくらい小さなび生物が、本当に二十
五メートルプール五百はい分もの水量のよ
し、理でできるの？び生物がいなくなると
水がきれいなならず、地球の人々がこま
てしまふのでは？などです。あの量の水
をし、理する
るためには、空気の入れかえをして、び
生物を元気にしてあげることが大切だとい
う事を

教えてもらいました。び生物がよじれを食べ
てくれたあとの水を見ると、にごった水から
やさしい緑色に変わっていました。結果、び
生物は、私達が生きていくためになくはな
らないそんざいだとわかりました。そして、
水をきれいにしてくれて感しゃしています。
私は、SDGs 十七の目ひょうについて
前からきょう味があります。その中の一ツ
「安全な水とトイレを世界中に」ということ
について、調べて考えてみました。

私達の生活は、じゃ口をひねれば水が出て
くるのは当たり前です。しかし、世界にはそ
うでない国がたくさんあり、水道せつびすら
ない国もあると本に書いてありました。また、
生活ほい水などが流れこんだ川の水を飲まな
ければならない人もいるそうです。ふえい生
な水が原いんで命を落としている人もいます。
私はその事をかわいそうだと思ひ、清けつな
水を使わせてあげたいという気持ちになりま
した。そのためには、下水道や浄化センタ

などが必要です。水道せつびのない国や地い
きに、一日でも早く作^つてあげてほしいと、
心の底から願^つています。

最後に、下水道ができると、こんなに良い
事があります。見学の時に、会議室で見た口
V^ドで、水が清けつだと安全な町作りができ
美しい自然かんき^ようを守ることができると
いう内容が流れました。学校のテストでは、
水は生活やさん業に使われると出てきました。
きれいな水だとおいしい食べ物がとれます。

なので、世界の人が、えいようのあるごは
んを食べることができます。下水道は、私達
の生活をさ、さえてくれる重要な役わりをして
います。水は、みんなが見ていないところで
じ^やんかん^んしていて、その様子は、まるで、
大ぼつけん^んをしていようだと、感じました。
みなさん、かぎりあるしげんの「水」をむ
だにしないように使うことを一日に一回でも
いいから、心がけまし^ようね。一日一せん。
や^ってみよう。だれかのためにできる事を。